# あすなろ

熊谷女子高校
図書委員会
第679号
2021年12月21日発行


もうすぐクリスマスですね！そこで、クリスマスについて紹介します。

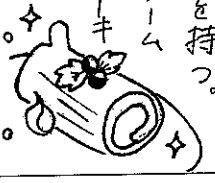
☆クリスマスとは

今から2000年前、イエス・キリストはユダヤのベツレヘムの馬小屋で聖母マリアのもとに生を受けました。この生誕をお祝いする日がクリスマスです。

しかし、いつ始まったのか、どういう経緯で始まったのか正確なことは分かっていないそうです。

「ブッシュ・ド・ノエル」
欧州のクリスマスケーキ。名前は仏語で「クリスマスの木」という意味を持つ。チョコレートクリームで包まれたロールケーキのようなお菓子。

イルミネーション
クリスマスシーズンに是非見てほしいイルミネーションが、東武動物公園でやっているものです。特に観覧車からの景色は圧巻です。
(コラボもあります！)



When it is dark enough,
you can see the stars.
どんなに暗くても、
星は輝いている。

☆クリスマスソング

・「All I want for Christmas Is You」
マライア・キャリー
日本では「恋人達のクリスマス」という題で知られている曲。アップテンポで楽しい曲で、クリスマスへのワクワクした気持ちを高めてくれること間違いナシの一曲です！

・「Snow Song Show」
初音ミクが歌っている、所謂「ボカロ曲」。子どもから大人へと変わっていく今、聴いてほしい曲。明るめなのにどこか切なさを感じる曲調が魅力。機械音声だからと敬遠せず聴いてほしいです！

## 師曰く

「受け身の練習をしよう」

相田みつをさんの詩『受け身・負ける練習』の一節を紹介します。

柔道の基本は受け身　受け身とは投げ飛ばされる練習
人の前で叩きつけられる練習　人の前でころぶ練習
人の前で負ける練習です。
つまり、人の前で失敗をしたり　恥をさらす練習です。
自分のカッコの悪さを　多くの人の前で
ぶざまにさらけ出す練習

それが受け身です。

長い人生、物事すべてが上手くいくことよりも、失敗したり恥をかいたりすることの方が遥かに多い。その失敗を恐れて結局何もできなかったという経験はないだろうか。また、自分の思いや願いが通らず、それを他人のせいにしたことはないだろうか。そんなとき、負けることが当たり前と考えてみたらどうだろう。そして、失敗や恥は人生の受け身の練習であり、次はそれを活かせばよいのだと考えられたら、、肩から気負いもとれる。たくさん受け身の練習をしよう。

☆このコーナーは熊女の先生から生徒たちへのメッセージです。

★熊女生へのおすすめ本★

関謙介先生（日本史）

『「育ちがいい人」だけが知っていること』
著者：諏内えみ

Qこの本との出会い

テレビで紹介されていて知りました。私のような育ちのよくない人間は何を損しているのか、何を気を付けるべきかを知りました。

Qおすすめのポイント

生活の様々な場面で「マナー」という言葉を耳にします。自分のマナーは正しいかどうかを立ち止まって考えてみるための一冊です。

普段は詩を紹介しているスペースですが、今回は冬の俳句をいくつか紹介しようと思います。

旅に病で　夢は枯野を
かけ廻る
芭蕉

日輪の　月より白し
虎落笛
川端茅舎

君がため　春の野に出でて
若菜つむ
わが衣手に　雪は降りつつ
光孝天皇

著作権の都合により省略

広報班